

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス あいるぶらす				
		公表日 令和8年 1月 31日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境 ・ 体 制 整 備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・スペースが確保できるよう必要なものだけを置くようにしている。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・配置基準以上の人数で対応している	
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・常に安全チェックをしている。危険な箇所があれば補修している。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・毎日掃除チェック表をつけ清潔を保つようしている。	
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・必要に応じて使用している。	
業務 改 善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・支援開始前にスタッフミーティングをおこない前日の様子や伝達事項など漏れのないようにしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・ミーティング等で意向等を確認し、改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・始業前に気づいた事やその日のスケジュール等確認するミーティングを行っています。また、その都度気になる事があったら随時意見を聞き共有し、業務改善に努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0%	100%	・現在は行っていない	・外部評価検討中
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・全職員を対象とした研修を年2回社内で開催し、また外部の研修に参加するなど向上を図っている。	
適 切 な 支 援 の 提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・HPにて掲載している。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・保護者、児童の面談等を行いスタッフからの意見を踏まえながら計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・日々スタッフの意見を聞きながら共通理解するよう会議、会議録を残し検討している。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・スタッフミーティング等で共有している。	
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・相談員、学校等支援会議を行う中で確認している。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・個別に合わせた支援内容になるように心がけている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・ミーティングを行い活動内容を立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	・室内だけではなく、外出活動や見学活動等固定化されないように取り入れている。	

～供	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	・子どもの状況に応じた活動内容を職員間で考えている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・支援開始前に必ず打合せを行っている。その場に参加できない者には、個々に伝えている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・管理者に気になった事は必ず報告している。個別支援記録に残している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・個別支援書に記録をとり、職員間で共有し検証や改善を図っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・定期的にモニタリングを行い、必要に応じて見直しをしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	100%	0%	・創作、毎月のカレンダー作り、地域イベントの参加、ヨガ教室などを活動に取り入れている。	
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・月に数回、自分で選んで決める活動を取り入れている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	・児童発達支援管理責任者が参加している。	
関係機関や保護者との連携	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・管理者が中心となって調整をとり体制作りを図っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・年間行事予定や下校時刻表等いただいている。学校への送迎時に何かあった時は情報を伝えいただいている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	100%	0%	・会議に参加し情報共有をしている。また、保育園にも見学に行く事がある。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	100%	0%	・依頼があれば行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	100%	0%		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	0%	100%	・今後、検討していく。	
	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	0%	100%		・参加できていない。が機会があれば参加したいと思う。
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・送迎時、日々の状況を伝えるようにしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0%	100%		・現在、研修等の開催は行っていないが、要望等あれば検討したいと思う。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・ご契約時に説明している。	
～保護者	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・面談やノート、電話等で確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・面談や面談が難しい場合は送迎時や電話等で説明をし同意をいただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・お電話相談や送迎時に相談等にこたえている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0%	100%		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・管理者を中心に体制やその整備を行っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	・HP等で定期的に発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	・個人情報の入っている棚に鍵を付けるなど行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	・配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0%	100%		・日時等機会があれば活動に組み込んでみたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・各種マニュアルを作成し、閲覧可能にしている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	・職員全員を対象した研修を年2回行い、その中で非常災害を想定した演習を実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・アセスメントシートや保護者様からの聞き取りで確認している。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・フェイスシート、指示書をもとに対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・全職員を対象とした研修を年2回おこなっている。また、活動に避難訓練を取り入れている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	・更に周知していただけるよう努めていく。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・事例集を作成し、事業所にて共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・全職員を対象とした研修を年2回行っている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・身体拘束を行ったことはないが必要に応じて計画書に記載し、保護者様に説明・了解を得た上で行うようにしている。	